

**低気圧の種類**

ふつう「低気圧」というと（　　温帯低気圧　　）のことです。

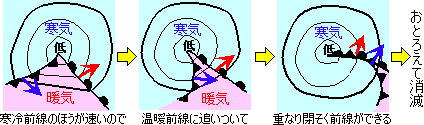
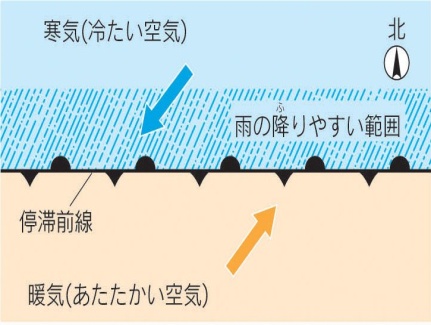
温帯地方では北に（　寒気　）南に（　暖気　）が存在している

ものなので、気温のちがう気団が接する機会が多いです。右図→

寒気と暖気がぶつかりあうと、（　前線　）が形成されます。

前線の接しているところを中心に、空気のうずができて低気圧と

なります。今日はそのできかたを見てみましょう。

①　　　　　　　　　　　　②　　　　　　　　　　　③　　　　　　　　　　　④

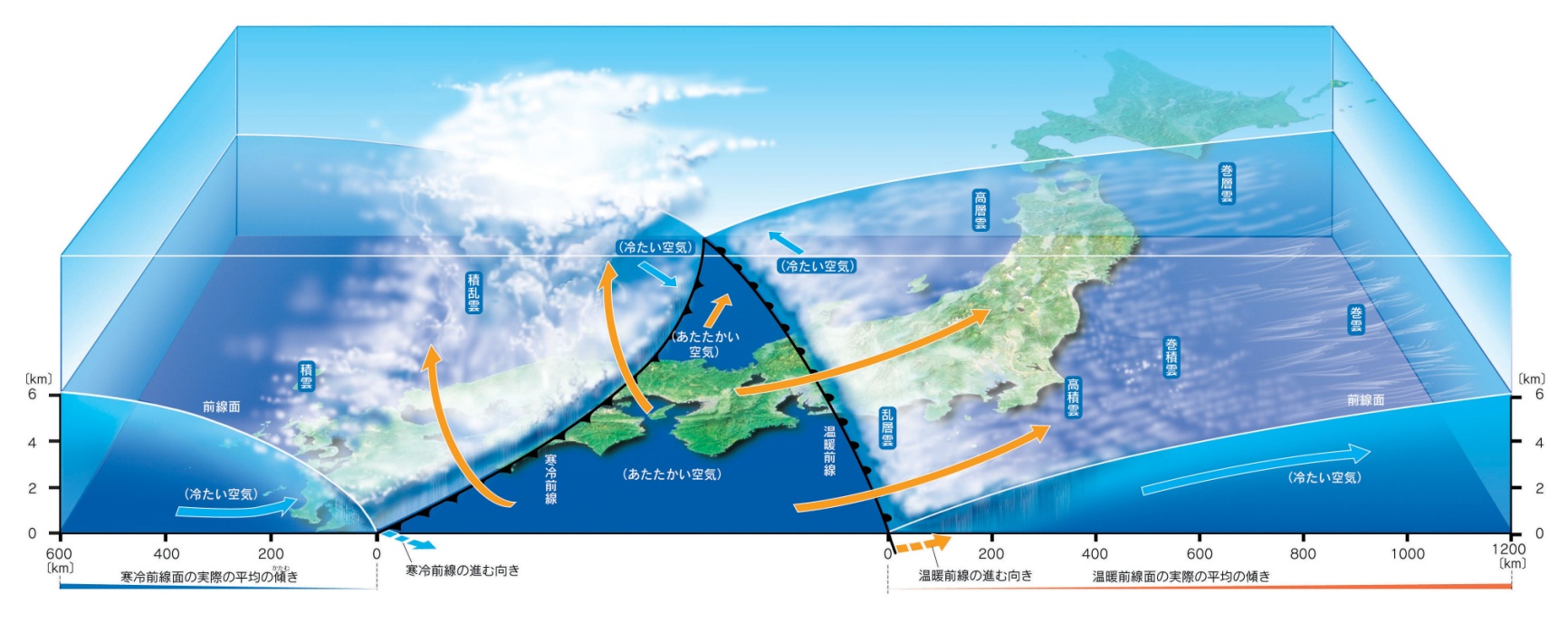
①　大気の大循環のため、冷たい空気は反時計回りに赤道へ、あたたかい空気は反時計回りに極へ向かい、

低気圧の南に扇形の暖域を形づくる。

②　この流れのために前線はかたむき、低気圧の中心から東側には温暖前線が、西側には寒冷前線ができる。

③　冷たい空気はあたたかい空気よりはやく進むので、暖域は徐々にせばまる。

④　温暖前線と寒冷前線が重なった部分に閉塞（へいそく）前線ができ、次第に前線は弱まる。

**温帯低気圧の構造**

・低気圧の影響を及ぼす範囲は２０００～３０００ｋｍになる。

・低気圧を中心にして、（　　反時計回り　　）に風がふきこむ。

・低気圧の中心から、南西方向に（　　寒冷　　前線）、南東方向に（　　温暖　　前線）がのびる。

・寒冷前線と温暖前線にはさまれたところには（　暖気　）が、それ以外のところは（　寒気　）が分布する。

・寒冷前線には、せまい範囲で積雲、（　　積乱雲　　）が発生する。雨の降る範囲は５０～７０ｋｍと狭い。

・温暖前線には、広い範囲で層雲状の雲が発生し、（　　乱層雲　　）が雨を降らせる。

他は高層雲、高積雲、巻層雲、巻雲の順序で薄く、高くなっていく。雨の降る範囲は２００～３００ｋｍ。

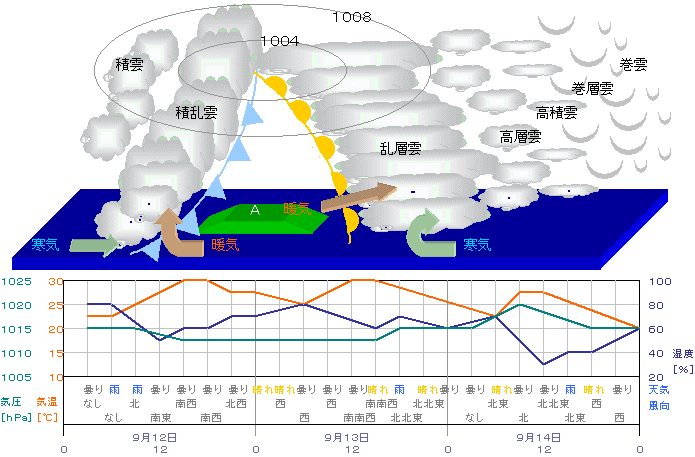
・温暖前線の通過後は（　　南　　寄りの風）、寒冷前線の通過後は（　　北　　寄りの風）が吹く。

　低気圧は（　西　から　東　）へ移動する

日本上空にふく西風（　偏西風　）に流されているからです。

天気は西から変わります。温帯低気圧の移動と天気の移りかわりを

見てみましょう。



１．温暖前線の前方

　空に巻雲、巻層雲、巻積雲、高積雲が現れ、天気が晴れから曇り始める。

２．温暖前線の接近

　雲がだんだん低く厚くなり乱層雲でおおわれ、やがて雨が降りはじめる。

３．温暖前線の通過

　数時間の弱い雨が降り続き、西の空が明るくなる。

４．温暖前線の通過後

　雨はあがるもののすっきりと天気は回復しない。暖気におおわれるため、気温が上がり南寄りの風が吹く。

５．寒冷前線の通過

　西の方に発達した積乱雲が近づくとすぐに激しい雨が降り始め、１時間くらい続く。

６．寒冷前線の通過後

　雨があがると天気は急速に回復し、晴れになる。寒気におおわれるため、気温が下がり、北寄りの風が吹く。

　２年　　組　　番　氏名